



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。
CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
放送日時：7月11日～8月10日 6：40・20：30
(土・日曜日は6：40を9：00に変更)

○きっかけは水俣病やアスベスト公害

大学生のときに、水俣病やアスベスト公害を勉強していました。ある人から「四日市公害の経験をもとに、アスベスト公害についてアドバイスをして欲しい」と求められた時、自分が四日市公害のことを知らないことに気付きました。これをきっかけに、自分のまちで起こった公害を知らないのはいけないと思い、四日市公害の被害を受けた人に話を聞きに行くようになりました。

○四日市公害裁判について思うこと

経済発展を優先した結果、公害が発生し、弱者に被害を集中させてしまったことや、現在も患者さんがみえることを忘れてはいけません。

しかし、四日市公害裁判の判決がなかったら、日本の公害の解決はもっと遅れていたと思います。環境を改善しようとする取り組みが、同じように大気汚染に苦しむ他の地域や被害者を救ったにもかかわらず、まだ公害のイメージが残っていて、四日市の環境改善が正しく認識されていないことが残念です。



←昭和40年代のコンビナート

現在のコンビナート→



さかき えだ まさ ふみ
榊枝 正史さん

四日市公害の経験を今に生かしたいと考え、平成20年から四日市公害や環境改善の歩みについて学び、現在は、昔の歴史を今につなぐ人として活躍されている榊枝正史さんにお話を聞きました。

○過去を忘れず、未来につなげる

多くの人たちが公害被害に苦しんでいた当時は、空気と同様に海も汚れていたそうです。現在は、海岸で環境調査をすると、多くの生き物を観察することができます。漁師の人からは、「昔は臭い魚が捕れたが、今はそんなことはない」とのお話を聞きました。

公害を再発させないために、市民一人ひとりが四日市公害の歴史や、改善された現在の環境を学ぶ機会を持つことで、今の空気や海を守り、そしてこれからはずっと大事にしたいという気持ちが市民の皆さんの中に育まれるような仕掛けづくりに取り組んでいきます。

○プロジェクト方式で活動します!!

今年度は、移動式公害資料館や貸し出しできる教材作りなどのプロジェクトを実施します。

また、多くの人とつながり、四日市公害だけでなく環境全体を視野に入れ、活動の幅を広げていきたいと思っています。



7月20日から「夏休み四日市公害講座」を開催します！詳しくは、080-5168-4120（榊枝）までお問い合わせください。

有料広告掲載欄



セブン-イレブン

経営者募集 説明会開催中!

加盟条件

【資格】ご夫婦・親子・兄弟・姉妹で経営に専念できる55歳までの方。

【負担金】●Cタイプ/本部が土地・建物をご用意いたします。255万円(税込)
●Aタイプ/ご自身で土地・店舗をご用意ください。307万5千円(税込)

説明会日程

参加無料

- **7/13(土)・8/3(土)** 10:00~13:00
- **7/19(金)** 19:00~21:30

四日市都ホテル **四日市市文化会館**

株式会社

セブン-イレブン・ジャパン

〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8

セブン-イレブン ヨイミセ

0120-711-413

携帯・PHS 利用可 [加盟店オーナー募集部直通] 受付 / 9:30~17:30日曜を除く毎日(祝日も可)

セブン オーナー 検索 <http://www.sej.co.jp/owner/>

携帯から簡単アクセス



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

四日市の 地区自慢

富洲原



地区のシンボルマーク

昭和57年に公募で決めました。
富洲原の「ト」をもとに3地区の
「くらし」「まなび」「ふれあい」を3つ
の輪にしてデザイン化しています。

小学校卒業35年目に集う「^{さんびょう}三鑑会」 絆の強さの表れから、地域への恩返し

卒業後35年経ったら母校に集まる。富洲原地区の富洲原小学校には、「三鑑会」と呼ばれる同窓会があり、昭和30年の発足から今日まで脈々と受け継がれています。「サケの里帰り」という言葉もあるように、母校を懐古するために始められたようですが、ある時期から校歌にある「三つの鑑をしっかりと・・・」にヒントを得て、会の名前がつけられました。

三鑑会は、9月30日の創立記念日後の日曜日に開催され、その日は一気に地区がにぎやかになります。「お盆でも帰らなかったのに」と言いながら、「これだけはなんとしても」と駆け付ける人もたくさんいて、恩師や旧友との再会を喜び合います。また、恩返しの意味で、小学校

豊かな 人のつながり

「富洲原」は、富田一色の「富」、天カ須(洲)賀の「須(洲)」、松原の「原」の3地区の1文字ずつをとった地区名となっています。今回は、それぞれの地区が固有のまつりを持ち、ともすれば分散しがちな地区を一つにまとめている豊かな人のつながりを自慢したいと思います。



市内で唯一現存し、活用されている築後75年の富洲原小学校の講堂に集まった、三鑑会の皆さん

へ記念品を贈呈しています。

このような土壌があるので、歳をとって一定の年齢に達したら「一度は自治会長になって地域へ恩返し」の風土が出来上がっているのが、富洲原地区のまちづくりの最大の強みです。



記念品贈呈式の様子

世代を超え、絆で地区を三重の輪にする「夏まつり」

富洲原地区の夏は、7月の松原「石取り祭り」、8月の富田一色「けんか祭り」、天カ須賀「石取り祭り」で盛り上がりします。さらに昔は、3地区それぞれで盆踊りもあり、地域の人たちの夏のコミュニケーションの場になっていました。

しかし、近年盆踊りが廃れてきたことから、地区社会福祉協議会で夏まつり実行委員会を立ち上げ、平成12年から「夏まつりin富洲原」を開催しています。

このまつりは、富洲原地区の皆さんの触れ合いの場であり、未来を担う子どもたちに、後々まで楽しく語り継がれる夏の思い出づくりの場です。3地区の真ん中に位置する地区市民センターと北部児童館の駐車場を会場にして、



各夜店には行列ができます

いろいろな団体やサークルが手作り夜店を出店し、会場の中央では保育・幼稚園児から老人会までの老若男女が踊りを披露します。子どもたちにとって、夏休みに入った7月下旬の土曜日は、「夏まつりの日」として夜が更けるのも忘れて踊りは続きます。心待ちにする日。実行委員会のメンバーや夜店のスタッフ、踊り手、それを見る人も、みんなで存分に楽しみ、富洲原の住民であることを実感する一夜となります。

各地から赴任する園長や校長からも、「富洲原の夏まつりは素晴らしいの一語に尽きる」と評価していただいています。



夜が更けるのも忘れて踊りは続きます

問い合わせ先

富洲原地区市民センター内
団体事務局
(☎/FAX365-1174)

有料広告掲載欄

高速バスって、便利でお得!

大阪・京都⇄四日市

毎日6往復

乗車地/近鉄四日市、生桑(駐車場有)
片道2,500円、往復4,000円(小児半額)
要予約059-229-5555(9:30~18:00)

四日市⇄中部国際空港

毎日9往復

乗車地/新正(駐車場有)、近鉄四日市、
都ホテル、生桑(駐車場有)、東芝、垂坂(駐車場有)
片道1,500円(小児半額)



■お問い合わせ 三重交通株式会社 四日市営業所 ☎(059)323-0808

三重交通

検索